

# 科学的発見の利用に伴う様々な危険に対する責任は誰にあるのか？



朝永振一郎博士  
によるバグワイ  
ツシユ会議提言  
の解釈

繰り込み理論で1965年  
ノーベル物理学賞受賞  
(1906- 1979)

◎ **発見の多くは、直ちに新技術の開発となり、その社会的影響は善悪いずれにせよ直ちに現れる。科学者はその目で影響を見るし、しようと思えばそれを善の方へ、また悪の方へむけることもできる。一歩譲って、善悪どちらの方へ向けるかという決定は科学者以外の人がするとして、どういう使い方をするれば善になり、どういう使い方をすれば悪になるか、また、善用がどれだけ好ましいものであり、悪用がどれだけ破壊的なものであるかの正しい評価は、科学者が科学上のデーターにたっ始めて行いうることである。従って、すくなくともここまでの作業の責任は、科学者が負わなくて誰も負うことができないものである。**